

地域計画

策定年月日	令和7年2月19日
更新年月日	()
目標年度	令和14年度
市町村名 (市町村コード)	近江八幡市 (252042)
地域名 (地域内農業集落名)	船木町 (船木)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	33.2 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	33.2 ha
② 田の面積	33.2 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	0 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	0 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	0 ha
(参考)区域内における〇才以上の農業者の農地面積の合計	0 ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	0 ha
(備考)	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

- ・政府が進めている会社の定年延長に伴い、地域農業の担い手が高齢化し平日の作業者確保が課題。
- ・機械が全て老朽化し、現状の収益では更新できない状況なので上手く補助申請を見つけれられるかが課題。
- ・新たな作物の導入するにも、高齢化して現状維持が精一杯で打開策検討必要。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

- ・米と転作作物の麦、大豆を中心に安定した農業経営を目指す。
- ・環境こだわり米の作付け拡大を図る。
- ・環境変化に適応した品種の選定により収穫量の安定化を図る。
- ・新規作物を選定し、段階的に種類を増やし栽培方法を確立し、儲かる農業に転換する。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
集落営農法人への農地の集約化を基本として、担い手が安定した農業経営を行なう為に効率的な農地利用を進める。			
(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	94.9	%	将来の目標とする集積率
			94.9 %
(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標			
町内の耕作者は全て、あおねファームに10年以内に集約することを目標に進める。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組
所有者の貸付意向時期に配慮し、担い手を中心に集積・集約化を進め団地面積の拡大を進める。+C38:AC44
(2)農地中間管理機構の活用方法
農地管理機構からの貸し付け情報を参考に、担い手への経営意向を踏まえ段階的に集約化する。
(3)基盤整備事業への取組
農地整備事業を活用し、大区画化の基盤整備を検討する。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
市及びJAと相談しながら地域外の多様な経営体を参考に勉強し、切れ目なく担い手と連携し育成に取り組んでいく。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
作業の効率化が期待できる防除作業や大豆の刈取り作業は、引き続き岡山営農組合に委託する。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

<input type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input checked="" type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④畑地化・輸出等	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨耕畜連携等	<input type="checkbox"/> ⑩その他

【選択した上記の取組内容】

- ③田植作業の自動化推進
- ⑦自己保全体制の確立
- ⑧給排水施設の保全及び管理

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和14年度)				
		経営作物等	経営面積	作業受託面積	経営作物等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
集		水稲・麦・大豆	29.1 ha	ha	水稲・麦・大豆	29.1 ha	ha		
利用者		水稲	0.5 ha	ha	水稲	0.5 ha	ha		
利用者		水稲	0.4 ha	ha	水稲	0.4 ha	ha		
利用者		水稲	0.8 ha	ha	水稲	0.8 ha	ha		
認農		水稲・麦	2.4 ha	ha	水稲・麦	2.4 ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	5経営体		33.2 ha	0 ha		33.2 ha	0 ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。
 注2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。
 注3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。
 注4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。
 注5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目
1		病虫害防除、大豆刈取り	水稻、麦、大豆
2		用排水	水稻
3		全般的	水稻、麦、大豆

6 目標地図(別添のとおり)